

家庭

教科	科目	単位数	履修年次・選択群	履修区分
家庭	子ども文化	2	3年次・J1、J2群	選択

目 標	履修の条件・連絡
1 子どもと遊び、子どもの表現活動、児童文化財などに関する知識と技術を習得する。 2 子どもに豊かで健康的な文化と環境を与えることに興味を持ち、積極的に子どもと関わることのできる能力と実践的な態度を身に付ける。	・人文科学系列を選択している生徒で、前年度「子どもの発達と保育」を履修した者 ・福祉系列の3年次生

使用教科書 (出版社)	子ども文化 (文部科学省)	副教材 (準備物)
----------------	------------------	--------------

学 習 の ね ら い	学 習 内 容 (単元・項目)		
	期	月	
学 習 の 年 間 計 画	1 学 期	4月	第1章 子ども文化とは何だろう (1) 子ども文化とは (2) 子ども文化を歴史から見る
		5月	第2章 子どもと遊び (1) 遊びと発達 (2) 遊びの現状 (3) 遊びと遊具・玩具 (4) 遊びと伝承
		6月	第4章 子どもと文学 (1) 語り (2) 紙芝居
		7月	(3) 絵本 実習：絵本製作 第7章 子ども文化実習 保育体験学習①
	2 学 期	9月	第3章 子どもと表現活動 (1) 子どもの表現活動のおもしろ (2) 造る・描く 実習：手作りおもちゃの製作
		10月	(3) 言語表現活動
		11月	(4) 歌う、踊る、演奏する
		12月	(5) 表現活動の実際 保育体験学習②
	3 学 期	1月	第4章 子どもと文学 (4) 児童文学 (5) アニメーション
		2月	第5章 現代の子供の生活と文化 (1) テレビ、キャラクター、ゲーム (2) 子どもと年中行事
		3月	第6章 子ども文化を支える場 (1) 行政による公的な支え方 (2) 民間企業による支え方

学 習 評 価	観 点	関心・意欲・態度	思考・判断・表現	技能	知識・理解
	規 準	子ども文化に関心を持ち、積極的に子どもについて学ぼうとしているか。	子どもにとってよい環境とはどのようなものか考え、豊かで健康的な文化環境を与えるために、学習した知識と技術を活用しているか。	子どもの心身の発達に適した児童文化財の創作や制作ができているか。	子どもの遊び、表現活動、児童文化財の意義や役割を理解しているか。
	手 段	・授業、実習態度の観察 ・レポートの記述	・定期考査 ・レポートの記述	・実習の態度の観察状況 ・作品	・定期考査
	各学期や年間の学習状況の 評価方法	・年2回の期末考査と課題で評価する。 ・授業や実習に取り組む態度、提出物の状況、作品なども評価に含む。			

学習上の留意点	・授業への出席や授業中の態度、レポートの提出状況などの平常点が重視される。 ・手作りおもちゃ、絵本、紙芝居などの作品制作では、取組状況と作品の両方が評価される。 ・保育所訪問等体験学習への取組、観察記録の提出状況等も重視される。 ・提出物は期限を守って提出すること。
---------	--